



12年前日記

1999年12月23日
(木)

山田夫妻

『12年前日記 1999年12月23日(木)』

【1999年12月23日(木)】*2011年12月23日(金)記

10時、ちょっとお寝坊さん起床。朝の冷え込みがきつくて6度寝くらいを繰り返した記憶が。まあ、せっかく静養に来たんだからと思い、前人未踏の7度寝にチャレンジ。そんでもってベッドでゴロゴロしていたら、無事にギネス達成に成功した模様。

12時、腹が減って七転び八起き。昼頃には温かくなってきたので、ようやくホテルを出る。昨晩や今朝とは違いぽかぽか陽気。そして、空気が澄んでいる。バンコクみたいな主に交通渋滞による大気汚染はないようだ。

ホテルの裏手で見つけたオシャレなカフェで朝昼兼用でホットケーキとホットコーヒー(70B)。いやが応にも高まる避暑感。ちょっと恋の逃避行、傷心旅行風味も混ぜとくか。

優雅そのものだ。心なし体調も自然と回復傾向に。喉は大気汚染、体のだるさは熱ではなく、熱射病みたいなもんだっただろう。

そうと分かれば、こんな有閑マダムみたいに生ぬるいことしている場合じゃない。

よし、とりあえず恒例のチェンマイ慣れしなきゃ。ああ、大丈夫大丈夫。同じ轍は踏まない。もう意味もなくほっつき歩いたりしない。

俺はこれから風になるんだ。そう、風邪から風に。最後の一押し、完全復活のためのショック療法を兼ねて、レンタバイク屋でバイクを借りようと思い立つ。

チェンマイの街を意味もなく走り回ろうという大人の趣向だ。ガキじゃあるまい、いつまでも徒歩なんて。

レンタバイク屋にテクテク歩いて行く。ホンダのカブを借りる(100B)。保証として、100ドルかパスポートを求められる。

男なら迷わずパスポートを人質にするもんだ。だって、パスポートならもし返ってこなくても、100ドル以下で再発行して貰えるし、そのときはカブはオレッチのもんじゃん(2011の俺便り。ちなみに今はどうか知らないが、12年前は国際運転免許はもちろん、日本の運転免許の提示する求められなかった。もちろん聞かれたら、国際免許は当然、日本の原付の免許すら持っていない系なことを正直に伝えただろう。俺は何の資格も免許も持っていない男の中の男。全身自称プロ戦場特派員家だから。ちなみに何の将来の保険もない。男に未来の保険など軟弱なもんはいらん。丸腰でどうなろうが逃げも隠れもしない。もうひとつちなみに本当の保険の話をする。戦場特派員は危険な仕事ゆえ基本保険には入れない。バカ高い保険金を払えば別だが。後、部屋も借りれないし、クレジットカードも作れないし、ローンも組めない、だってフリーランスのぺんぺん草だから)。

さて、男は黙って、レンタバイク屋のおっさんにパスポートを投げ捨て、レンタバイクのカブに跨った。チャリと脳裏を原チャリに乗って田んぼに落ちた過去や、路地の曲がり角で出会い頭に車にぶつかったりした過去が横切るがシカト。

タイでは子供もバイクに乗っているし、家族5人で一台のバイクに乗り込んだりもしている。もち全員ノーヘルだ。俺だって、いつも夜はノーヘルだぜ。しかもマッハね。

当然、昼のノーヘル状態だ。学生時代、ベトナムだタイだに行った際、レンタバイクに乗っているからこなれたもの。跨ったバイクを両足で挟み込み、キーをさしこみ、エンジン始動。振動が心地いい。もちろん股間に、直撃。

向かって右側のハンドルの持ち手がアクセルだ。手前に回し、アクセルをゆっくり開く。スピードをあげながら、足でギアを蹴込む。1速、2速、3速と駆け上がり、トップギアに入れたら、後はそのままスピードに乗って風になるだけ。

借りたバイクで走り出す、行き先も分からぬまま、たまには仕事のことを忘れてこのまま突っ走りたい。

が、当然ガソリンはほとんど入ってないので、ガソリンスタンドに立ち寄り、ガソリン満タン（40B）。やり方は日本と一緒だ。店員のにいちゃんに「ハイオク、満タン」と言えば通じる。日本のガソリンスタンドに行ったことないけど。

そのままチェンマイの旧市街を流す。チェンマイは古都で、王宮の後が残る、風光明媚なところなんてことはガイドブック読むか、「チェンマイ 動画」などで検索しなさい。

こうやって走っていると何もかもが吹っ飛ぶ。てか、やっぱほぼ完治した気がするので、早くバンコクに戻って仕事を再開したいが、いかんせん四泊五日の予定を無責任に変えられない。

15時。3時のオヤツにパイナップルをほうばる。バイクで走りまくり冷え切った体が芯から冷えた。そろそろ夕方が近くなってきて日が翳ってきたのか肌寒くなってきている。

なんたら市場にて、朝晩は冷え込むし、明日は朝一でトレッキングツアーに行くからセーター（180B）を買おうかどうか散々迷った末にやめる。大き目の半袖を重ね着すればいい。ちょっと節約奥様気分で儲けた気分がホクホクする。

問題は今日はぴちぴちの半袖一枚なこと。その問題には目をつぶり、ガソリンを使い果たすまでグルグルと回る回るよ～、あ、鳥肌だ！

ちゃんとレンタバイク代とガソリン代の元は楽しまなくちゃ。ガソリンが残ったまま返却するなんて日本男児の恥だ。お楽しみはこれからだぜ。

17時過ぎ、お楽しみはこれからだぜを断念して、寒いのでバイクを返しに行く。無事に人質のパスポートが帰ってくる。会いたかったよ。俺がいぬ間に、俺がバイクに乗っている間に、偽造パスポート作りに強制参加されていたとしても知ったこっちゃない。俺はエスパーじゃねえし！

まあ、世界には3人、自分に似た人がいると申しますので、この広い世界に3人くらい、自分のに似たパスポートを持っていてもいいじゃないか。

18時、歩いてトコトコホテルに戻る。最後は寒中我慢大会みたいにバイクに乗っていたが、体調は悪くない。

18時30分、念のため、半袖の上にもう一枚半袖を着込んだ微妙なオシャレ姿で、トゥクトゥク（30B）に乗って、快気祝いに日本料理屋（173B）へ。変なカツ丼らしきを食べたよ。ブタ肉がタイのブタ臭い。

19時30分にはもうトゥクトゥク（40B）に乗って、ホテルにご帰還。気分はお大尽様。明日は朝からトレッキングツアーだ。

水上マーケットの二の舞にならないよう、1時に就寝。

○本日の出費、「計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよ」B。ついでに一日の流れも「いちいちうっとうしいから誰か簡単にまとめといて」ジャ〜。

『12年前日記 1999年12月23日（木）』

<http://p.booklog.jp/book/41318>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41318>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41318>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.